

3月予算議会

2. 16～3. 22

岡田重美議員が代表質問

開会中の3月定例議会は2月28日に4会派による代表質問が行われました。日本共産党甲賀市議員団は、岡田重美議員が代表質問に立ち、**①災害からいのちを守る体制の抜本的強化、災害に強いまちづくり** **②政治とカネの問題** **③平和の問題** **④コロナ禍と異常な物価高騰から市民のいのちと暮らしを守る対策を** **⑤岩永市政の評価と課題** **⑥新年度予算案の6項目について市民の切実な願いの実現と市政の問題点を質しました。**



■災害からいのちを守る体制の抜本的強化、災害に強いまちづくりについて

能登半島地震は甚大な被害をもたらしましたが、特に今回の地震では国の初動の遅れや、避難所の設備の不備などが問題となったことから、能登半島地震から甲賀市は何を教訓とするのか、甲賀市で大規模な地震が起きた際どう対応するのか、避難所運営マニュアルの見直しはどうかなど問いました。危機安全管理統括官から、初動時の的確な対応、避難所での物品の確保、適正な人員配置等災害対応強化の答弁がありました。また、今回志賀原発でトラブル

ルが発生しました。地震国である日本で原発を動かすことは危険であり、原発再稼働は止め、原発ゼロを目指すべきではないかと問いました。市長は、国において判断されるべきと、いつもの答弁にとどまりました。

■政治とカネの問題について

自民党派閥による巨額の裏金作りが、長年組織的に行なわれていたことが明らかにされました。完全な違法行為であり全容解明なくして再発防止はありません。今回の裏金問題について、市長の認識を問いました。市長は、事実究明されるべき、今後政治倫理審査会で国民に説明がされたと認識しているとの答弁でした。

■平和の問題について

ロシア・イスラエルの武力による争いが続いています。核兵器禁止条約の成立や東南アジア諸国連合を中心とした平和の地域協力の流れなど、世界は平和をめざす流れが本流となつていきます。日本政府に対し、停戦を要請するよう求めるべきではないかとの問いに、市長は、一日も

早い「対話」による解決を願う、国は国際社会と連携し最大限努力すべきと答えました。また、予算が復活した広島平和記念事業の内容について担当部長に問いました。令和6年度は子どもへの参加人数を15人にしぼり予算を計上したとのことでした。

■コロナ禍と異常な物価高騰から市民のいのちと暮らしを守る対策を

甲賀市でもコロナが増加傾向にあることから、感染対策の継続を求めました。また、物価高騰対策として消費税5%減税、最低賃金引き上げを国に求めるべきと質しました。

■岩永市政の評価と課題について

令和6年度は市長の任期2期目の

最終年度であり、市が抱える課題にどう取り組むのか、6点について質問しました。市長は就任時、10万人都市をめざすと強調したものの毎年人口減少が進んでおり、人口減少が加速していることの認識・原因について問いました。また、人口減少対策として子育て施策の充実が重要であり、全国で進んでいる学校給食無償化に踏みきるよう求めましたが、市長は給食の内容の充実を図っている、無償化については国が進めるべきと答弁しました。

その他に、区及び自治振興会のあり方、職員の適正化計画、投票所数の大幅削減計画、ジェンダー平等社会実現、産業廃棄物処分場計画について課題や問題点を指摘しました。

■新年度予算案について

予算規模は過去最大の456億2千万円ですが、要因は大型施設整備に関する経費であり、道の駅あいの土山再整備には20億円が計上されています。地域活性化のため整備は必要ですが、当初より予算が大きく膨らんでおり大切な税金は市民の暮らしや福祉優先で使うべきと質しました。また、物価高騰対策、地域から要望の多い獣害や道路補修、除草、交通安全対策などの予算について問いました。

■山岡光広議員一般質問

3月5日4番目

- ①視覚障害者の福祉施策について
- ②通学バスの補助制度について
- ③コミバス・コミタクの再編問題
- ④国民健康保険の今後について

■西山実議員一般質問

3月5日5番目

- ①有機フッ素化合物の検査について
- ②コンクリートブロックや石畳の歩道道路の改修について
- ③水口細工の保存・伝承を

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2024年 3月 3日 第486号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044